

ジェンダー

参加無料・申込み不要

2018
2/3土

暴力 デモクラシー

13:00-17:00

中央大学
駿河台記念館

シリアや周辺地域の紛争、世界各地で繰り返されるテロ、北朝鮮のミサイル発射で再び高まる核の脅威。「人類の歴史は暴力を減少させてきている」という仮説に反する「現実」にどう向き合うか。核の脅威からDVまで大きさの違いもあれば、物理的・精神的・構造的といった質的な差異も存在する「暴力」に通底する根源的なものとは何か。いかにして「暴力」を減少させ、「暴力」をゼロに近づけることができるのか。

哲学・歴史学・法学・政治学・経済学など、異なった分野の研究者がそれぞれの角度から共通テーマ「ジェンダー・暴力・デモクラシー」に接近する。多くの方にご参集いただき、このシンポジウムが学際的な議論の場になるよう願っている。

アクセス



- ・JR中央・総武線 御茶ノ水駅下車、徒歩約3分
- ・東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅下車、徒歩約6分
- ・東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅下車 (B1 出口)、徒歩約3分
- ・都営地下鉄新宿線 小川町駅下車 (B5 出口)、徒歩約5分

主催：第27回中央大学学術シンポジウム理論研究チーム

共催：中央大学社会科学研究所「暴力・国家・ジェンダー」チーム



中央大学社会科学研究所シンポジウム

2018年2月3日(土) 13:00-17:00
中央大学駿河台記念館 620号室

ジェンダー・暴力・デモクラシー

第一部

13:00～

司会：鳴子博子

棚沢直子（東洋大学名誉教授） 「力関係の起源としての世代」

平野千果子（武蔵大学人文学部教授） 「ナポレオンと植民地—反乱、奴隷、女性」

原千砂子（桐蔭横浜大学法学部教授） 「再生産における女性主体と暴力」

堀川祐里（中央大学大学院経済学研究科博士後期課程院生）
「戦時期日本における既婚女性の就業環境」

（質疑応答）

第二部

15:10～

司会：中島康予

鳴子博子（中央大学経済学部准教授） 「ジェンダー視点から見たフランス革命
—暴力と道德の関係をめぐって」

西海真樹（中央大学法学部教授） 「構造的暴力としての言語政策
—琉球 / 沖縄諸語をてがかりに」

武智秀之（中央大学法学部教授） 「人口減少時代の福祉とデモクラシー」

中島康予（中央大学法学部教授） 「投票デモクラシーとポピュリズム」

（質疑応答）